



てき丸君News 第2号

発行：公益社団法人全国産業廃棄物連合会

〒106-0032 東京都港区六本木3丁目1番17号

TEL 03-3224-0811 FAX 03-3224-0820

<http://www.zensanpairen.or.jp>

春の叙勲受章者が決定

政府は4月29日（火）に平成26年度春の叙勲受章者を発令しました。

今回の叙勲では、当連合会にて理事及び中間処理部会長を務めていただいております一般社団法人兵庫県産業廃棄物協会の永川仁秀（えいかわ まさひで）会長が「旭日双光章」を受章されることとなりました。心よりお慶び申し上げます。

「新マニフェスト管理システム」5月1日稼働に向けて正会員事業研修



去る4月4日（金）全国産業廃棄物連合会会議室にて、平成26年度正会員事業研修を開催しました。

本研修会は、連合会及び正会員事務局担当者の業務知識向上や情報交換を目的に、例年開催しているものです。昨年までは、秋に開催していましたが、本年度は、春から稼働する新マニフェスト管理システムについて研修を行うため、年度初めに開催することとなりました。

年度初めの忙しい時期に、44協会59名の協会担当者が集まり、研修及び情報交換を行いました。

研修会では、連合会の森谷専務理事の挨拶及び連合会職員紹介の後、早速マニフェスト管理システムの研修を開始しました。

システムの説明は、システム開発会社より行われ、システムの概要、変更点等についての説明の後、実際にシステムに触れてみることとなりました。今回の研修では、1協会につき1台のパソコンを操作し、実際の業務の流れをイメージしながらマニフェストの連合会への発注から入庫、お客様への払出操作を行いました。限られた時間ではありましたが、正会員担当者からは、システムへの質問、要望等多くの意見が出され、有意義な研修会となりました。研修会終了後は懇親会が催され、この場でも活発な意見交換が行われました。（総務部・富樫）

「許可講習会講師研修会(業務管理担当連合会講師研修会)」を開催



許可申請に関する講習会（業務管理）の講義内容の向上を目的として毎年開催している講師研修会（業務管理を担当する連合会講師研修会）を、4月10日（木）と11日（金）にメルパルク横浜で開催しました。

初日は、日廃振センター・麻戸理事、土屋教育研修部長にもご出席頂き、講習会の概要や開催計画、プログラムや講義に当たっての注意事項等をご説明いただきました。この他、森谷専務理事より産廃業界の現状と当連合会の状況、事務局よりテキスト改訂のポイント等を説明しました。

2日目は、講師の皆様にご講義要領及び時間配分について、グループ討議を行って頂き、講義要領を作成して頂きました。その後、外部講師として、村松真貴子氏をお迎えし、「わかりやすく伝えるために」と題して、講師として心がけたいポイントについて講義いただきました。（事業部・横山）

災害廃棄物処理担当者連絡会議を開催

4月23日（水）に浜松町において災害廃棄物処理担当者連絡会議を開催しました。

会議の冒頭、西之宮災害廃棄物対策委員長から、47協会全てにおいて地元都道府県行政と災害廃棄物処理支援協定が締結されたことが報告されました。

その後、青森県、宮城県、福島県、茨城県、千葉県、熊本県の各産業廃棄物協会から、それぞれの協会における災害廃棄物処理支援事例についての報告が行われ、活発な質疑応答の後、伊藤委員から事例調査を通じて得られた課題等について報告されました。

●翌日に災害廃棄物対策委員会開催

また、翌日の4月24日（木）には、連合会会議室において災害廃棄物対策委員会を開催しました。

委員会では、泉原委員から災害廃棄物の処理を迅速かつ適正に進めるための方向性について提案があった後、前日に開催した災害廃棄物処理担当者連絡会議について報告されました。

これらの情報をもとに、産業廃棄物協会として災害廃棄物の処理を進める上での課題について意見交換が行われました。

これまで委員会においてとりまとめた結果のうち法制度に関わる課題は、今後、法制度対策委員会において検討が引き継がれることが了承されました。（調査部・香川）



●収集運搬部会

収集運搬部会では、4月2日に平成26年度第1回運営委員会を開き、改正廃棄物処理法施行以降の状況を踏まえて、収集運搬業許可の合理化と収集運搬業における欠格要件について、意見交換を行いました。業許可の合理化については、今すぐに全国一許可にするのは時期尚早との意見にまとまりました。

また、過積載防止については、排出事業者団体（日本建設業連合会、全国解体工事業団体連合会）に対して、過積載防止の協力文書をもって、協力をお願いすることとしました。

次回運営委員会は、7月2日（水）に開催する予定です。
（調査部：戒能）

部会便り

●中間処理部会運営委員会

中間処理部会では、平成26年度第1回運営委員会を4月15日に開催しました。議題は、中間処理を取り巻く昨今の動きとして、水銀廃棄物の処理、水濁法のカドミウム排水基準の見直し、太陽光パネルの処理、移動式廃棄物処理施設に係る基準設定等について等です。また、当連合会リサイクル推進委員会の事業の引継について議論しました。

水濁法のカドミウム排水基準の見直しの検討状況は、環境省の排水規制等専門委員会のサイトを参照ください。

<http://www.env.go.jp/council/09water/yoshi09-12.html>
（調査部・日浦）

都道府県協会便り

●【長野県協会】法人化20周年

一般社団法人長野県資源循環保全協会（平栗幹夫会長）の法人化20周年記念講演会及び記念式典が5月16日（金）に長野市のホテル国際21にて開催されます。

●【東京都協会】法人化30周年

一般社団法人東京都産業廃棄物協会（高橋俊美会長）の法人化30周年記念懇親会が5月23日（金）に東京・港区の青山ダイヤモンドホールにて開催されます。

青年部協議会活動の紹介

青年部協議会は、第4回スプリングカンファレンス（全国青年部部会長会議）を2月28日（金）に名古屋市で開催しました。CSR2プロジェクト継承と進化についての進捗状況、第9回全国大会について、スプリングカンファレンス2015開催場所について、平成26年度の事業計画等について協議しました。

またスプリングカンファレンス終了後には環境省の谷津龍太郎事務次官様に「環境政策の最新動向」についてご講演いただきました。

今後の日程については、7月25日（金）に第15回通常総会を青山ダイヤモンドホールにて、また、11月21日（金）に第9回全国大会を名古屋市にて開催させていただきます。（青年部協議会）

官公庁関係ニュース

●巨大災害発生時における災害廃棄物対策のグランドデザインの間取りまとめ

「巨大地震発生時における災害廃棄物対策検討委員会（第6回）」が3月28日に開催され、巨大災害発生時の取組の基本的な方向を示す中間とりまとめとして、「巨大災害発生時における災害廃棄物対策のグランドデザインについて」が策定されました。

当連合会は本委員会の要請を受け、連合会・災害廃棄物対策委員会の西之宮委員長が第2回委員会にオブザーバー出席し、産業廃棄物処理業界における災害廃棄物の処理支援体制について意見を申し上げました。

本中間とりまとめの全文は、以下の環境省ウェブサイトを参照ください。（調査部・日浦）

<http://www.env.go.jp/recycle/waste/disaster/earthquake/conf01.html>

【環境省】

◇PCB特別措置法に基づくPCB廃棄物の保管等の届出の全国集計結果について

<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=17921>

◇ダイオキシン類の排出量の目録（排出インベントリー）について

<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=17913>

◇平成24年度ダイオキシン類対策特別措置法施行状況について

<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=17912>

◇平成24年度ダイオキシン類に係る環境調査結果について

<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=17911>

◇廃棄物焼却施設の排ガス中のダイオキシン類濃度等について

<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=17909>

◇特定有害廃棄物等の輸出入等の規制に関する法律の施行状況（平成25年）について

<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=17961>

◇廃棄物処理法に基づく廃棄物の輸出確認及び輸入許可（平成25年）について

<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=17960>

◇「巨大災害発生時における災害廃棄物対策のグランドデザインについて」の中間とりまとめについて

<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=17995>

◇「災害廃棄物対策指針」の策定について

<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=17994>

◇福島県 県中浄化センター 下水汚泥（指定廃棄物）の焼却実証事業の終了について

<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=17970>

◇シンポジウム／ワークショップ「循環産業の新たな局面へ！連携と協働から考える次の一手」の開催結果について

<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=18013>

◇環境産業市場規模推計の公表について

<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=18030>

【経済産業省】

◇再生可能エネルギー発電設備の導入状況（平成25年12月末時点）

<http://www.meti.go.jp/press/2013/03/20140320004/20140320004.html>

◇再生可能エネルギーの平成26年度の買取価格・賦課金の決定

<http://www.meti.go.jp/press/2013/03/20140325002/20140325002.html>

◇平成25年中小企業実態基本調査（平成24年度決算実績）速報

<http://www.meti.go.jp/press/2013/03/20140327004/20140327004.html>

◇第135回中小企業景況調査（2014年1-3月期）の結果

<http://www.meti.go.jp/press/2013/03/20140327005/20140327005.html>

【国土交通省】

◇主要建設資材需給・価格動向調査結果（建設資材モニター調査：平成26年3月1～5日現在）

http://www.mlit.go.jp/report/press/totikensangyo14_hh_000429.html

◇環境行動計画（2014年度～2020年度）の策定について

http://www.mlit.go.jp/report/press/sogo10_hh_000093.html

【農林水産省】

◇バイオマス産業都市の第二次選定結果について

<http://www.maff.go.jp/j/press/shokusan/bioi/140328.html>

◇UNEP（国連環境計画）が発刊した「日本の産業廃棄物管理における経験と発展」に、当連合会が寄稿した「日本の産業廃棄物処理業」が掲載されています。

詳しくは下記のウェブサイトをご覧ください。

<http://www.unep.org/ietc/InformationResources/NewsArchives/Japaneseindustrialwasteexperiencepublication/tabid/130736/Default.aspx>